

第 1 回 令和 3 年度藤沢市民会館等再整備ワークショップ【結果報告】

令和 3 年 7 月 17 日 (土) に開催された「第 1 回 令和 3 年度藤沢市民会館等再整備ワークショップ」の概要を以下のとおり整理しました。

<各回の開催テーマ (予定) >

	開催日程 (予定)	テーマ (予定)
第 1 回 (今回)	7 月 17 日 (土) 10:00~	・対象エリアが自身にとってどんな場所か? ・対象エリアがどんな場所になってほしいか?
第 2 回	8 月 21 日 (土) 10:00~(予定)	・複合化したときの活動 (サービス・利用方法) を考える
第 3 回	9 月 18 日 (土) 10:00~(予定)	・対象エリアの現在の施設配置や雰囲気や気に入っているところは? ・また、もっとこうしたら良いと思うところは?
第 4 回	12 月 4 日 (土) 10:00~(予定)	・市民会館等再整備基本構想 (素案) を踏まえ、さらに身近なエリアとするために、どのような活動をしたいか?

(1) 開催概要

「第 1 回 令和 3 年度藤沢市民会館等再整備ワークショップ」の開催概要は以下のとおりです。

開催日時	令和 3 (2021) 年 7 月 17 日 (土) 10:00~12:00
開催場所	藤沢市役所 本庁舎 8 階 8-1、2 会議室
参加者	一般公募参加者 26 名 (申込 27 名) 事務局：藤沢市文化芸術課、企画政策課 八千代エンジニアリング株式会社
内容	1 開会 あいさつ (副市長) 事務局紹介 2 事前説明 (基調講演) ①藤沢市民会館等基本構想策定までのながれ ②市民会館等の現状及び課題 ③市民会館等再整備のこれまでの経過 3 ワークショップのながれ当日説明 4 ワークショップ (各班ごと) ①自己紹介 ②個人ワーク ③グループ内で発表・意見交換 ④発表 5 閉会

(2) 記録写真

当日の様子（写真）は以下のとおりです。

<開会・説明の様子>

・開会



・あいさつ（副市長）



・事前説明（基調講演）



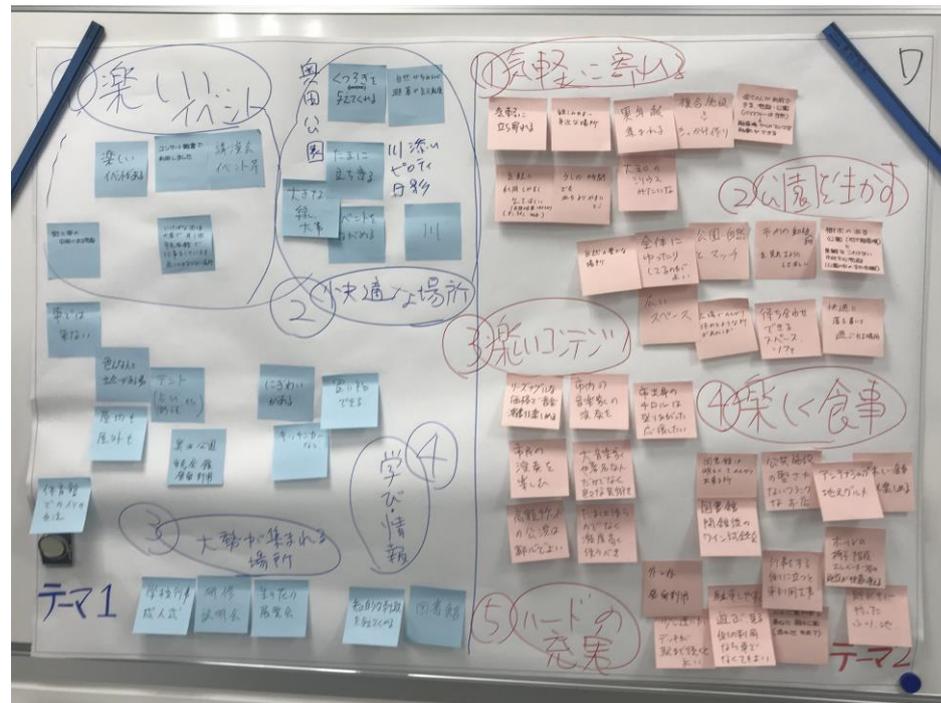
・ワークショップのながれ当日説明



Cグループ



Dグループ



<各グループの意見とりまとめ>

各グループの意見の内容を踏まえ、各テーマで挙げられた意見の概要を以下に整理しました。
また、各グループの意見の内容は次ページ以降に示すとおりです。

◎各テーマでの意見概要

<p>テーマ1</p> <p>対象エリアが自身にとってどんな場所か？</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 芸術文化に触れることができる藤沢を代表するエリアであるとの意見が挙げられた。【文化の象徴、アマチュア演奏者にとって最大の場所、学校行事の思い出 等】 • 芸術文化に触れる機会や楽しいイベント等を通じて、学びや成長を実感し、わくわくする体験を与えてくれるとの意見が挙げられた。【コンサート鑑賞、講演会で知識を増やす、図書館（知的な刺激を与えてくれる）、芸術文化が人間にとって何より大切と確信できた 等】 • 公園や旧近藤邸、施設周辺の緑の空間、境川沿いの環境などによって、ゆっくりくつろげる快適なエリアであるとの意見が挙げられた。【奥田公園（散歩）、旧近藤邸でお茶、境川（環境のよい懐かしい場所） 等】 • 所属する団体等での活動場所としても対象エリアが利用されており、なくてはならない場所（気軽に使いたい場所）であるとの意見が挙げられた。【演奏・発表会、教室・サークル活動（生け花）、展示ホール利用（抽選で予約がとりにくい） 等】 • 対象エリアは、市民会館での公演・催しの観覧、講演会等を目的に行くものの、用事がないと行く機会がないエリアであることが指摘された。【用事があるとき、公演を見に行くところ 等】 • 境川沿いの立地について、災害リスク（浸水）を気にする意見が挙げられた。【ハザードマップ内で洪水浸水想定区域に該当している 等】
<p>テーマ2</p> <p>対象エリアがどんな場所になってほしいか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現状の対象エリア（市民会館、奥田公園等）や藤沢市が有するポテンシャル（人・歴史等）を生かすことで、文化芸術の拠点となるエリアを求める意見が挙げられた。【あらゆる分野の文化芸術に触れられる、屋外などで気軽にアートに触れられる、文化芸術の発信・中心、文化の交流、祝祭空間 等】 • 子ども・若者からお年寄りまで多世代が集い、文化芸術に触れあうことができるとともに、楽しいコンテンツの充実や、奥田公園・施設周辺の緑の空間を生かすことなどにより、多目的に、日常的に、気軽に利用できるエリアを求める意見が挙げられた。【ゆったり、憩いの場、楽しく食事、アンテナショップ 等】 • 市民が毎日でも来たくなるエリアであるとともに、子育てや観光などの視点でも連携・発信することで、市民が誇れるエリアとなることを求める意見が挙げられた。【藤沢に住みたい・ここで子育てしたいと思いたくなる場所、市民が自分の生活に欠かさないと考える場所 等】 • わくわくする場所、あたたかく居心地の良いエリアを求める意見があった。 • 浸水対策などによって市民の安心に繋がる防災拠点や持続可能なエリアを求める意見が挙げられた。【災害時の頼れる場所、何かあっても市民会館にいるなら保護者も安心、浸水対策はきちんと、内水対策を兼ねた親水公園 等】 • 快適に利用できるホール等の施設や、バリアフリー・交通（駐車場）などの視点から、利便性の高いエリアを求める意見が挙げられた。

◎各グループの意見

<Aグループ>

テーマ1 対象エリアが自身にとってどんな場所か？	
項目	意見の内容
文化の象徴	芸術
	藤沢の文化の象徴
交流の場	市民会館の大ホール・小ホール
	藤沢子ども劇場の例会を会員と一緒に楽しみ交流できる場
演奏会の場	年に一度の定期演奏会（藤沢ジュニアオーケストラ）
	学校行事（思い出）
	市民会館（コンサート鑑賞）
	みらい創造財団・市の文化芸術課の事務所（演奏会の準備・助成の申請で何度か通った）
ゆったりくつろぐ場	市民会館の小ホール（秋を中心に藤沢市民の方々に邦楽関係の演奏会）
	旧近藤邸（市民会館が商業施設に囲まれている中、緑豊かなほっとできる場）
	旧近藤邸は魅力的、文化遺産の吸引力大
	ゆったりスペース
告知方法	奥田公園（散歩）
	市民図書館（旧南市民図書館）（自習室）
	辻堂駅改札に電光掲示板でイベント告知があれば、情報を取って行きやすい
	ホール以外のことをほとんど知らない（市民会館以外の場所に行くきっかけがなかった）
老朽化	藤沢市在住歴が浅く、辻堂にいると何か目的（コンサート等）がないと訪ねない場所
	薄暗い印象

テーマ2 対象エリアがどんな場所になってほしいか？	
項目	意見の内容
文化芸術の拠点	いつでも誰もが気楽に来られる場所、文化の中心
	日本で指折りの文化施設
	お客様をご案内して、半日以上楽しく過ごせる場所
ゆったり	自然も大切
	旧近藤邸・市民会館は建物だけでなく、周辺の緑も重要
	憩いの場を残して欲しい
世代	コワーキングスペース的空間（人との交流）
	どの世代も集える
	多目的に楽しめる
	普段（週ごと）の練習拠点のひとつ（公民館のように身近に）
	もっと知ってもらおう
	市民会館 大ホール・小ホール（藤沢中の子どもたちが生の舞台を楽しめる場所）
わくわく	多くの方々が文化・芸術に触れやすくなる
	明るい場所になってほしい（大ホール玄関（特に一階）等は全体的に薄暗い印象）
	市民会館 大ホール・小ホールの老朽化は否めない（わくわくする場所）
防災拠点	広さをもっと
	災害時の頼れる避難所
利便性	防災拠点になるように（何かあっても市民会館にいるなら保護者も安心）
	旧近藤邸は別に考える（駐車場拡大）
	駐車が欲しい
	駅からの動線が明朗快活
	交通（学校行事）
	自転車や新しいタイプの乗り物でアクセスしやすい場所に
使いやすい利便性	
市の窓口と財団の窓口は、一緒でもよいがわかりやすくして欲しい	

※項目・意見の内容は、ワークショップ時に模造紙・付箋に書かれた内容を概ねそのまま記載（誤字等は修正）

◎各グループの意見

<Bグループ>

テーマ1 対象エリアが自身にとってどんな場所か？	
項目	意見の内容
公演・催し	催し場
	用事があるとき
	公演を見に行くところ
市を代表する場	アマチュア演奏者にとって最大の場所
体験・成長	人と関わること、生で一緒に体験することの大切さがないと人間らしく生きられないと確信できた
	文化芸術が人間にとって何より大切（時によっては衣食住より）と確信できた
	子どもと自分と仲間にとって、成長する、変化する、機会を得る場所
環境	旧近藤邸（喫茶店でお茶をする）
	川名の山陰と境川のほとりは、環境のよい懐かしい場所 （防災）昔、田んぼなので水の手当てに注意
	市民会館の展示ホールを月に一回利用（一年前の同月に抽選があるが取りにくい）
利用（市民会館等）	国体や県・市の活動での利用
	観劇や講演会での利用
	会議や打合せ
利用（青少年会館）	青少年会館を月3回、いけばなの教室（サークル）として利用
	青少年会館を子どもいけばな教室として年11回利用
	青少年会館より以前の会館は、青少年の自習・学習室が充実していたが、今の会館のスペースは少ない
	藤沢青少年会館【青少年会館】・藤沢子ども劇場【子ども劇場】の活動の話し合いの部分で活用し、青少年の成長、大人の責任を考える
	子どもたちの活動を支援する場所 青少年と触れ合える場所

※項目・意見の内容は、ワークショップ時に模造紙・付箋に書かれた内容を概ねそのまま記載（誤字等は修正）

テーマ2 対象エリアがどんな場所になってほしいか？	
項目	意見の内容
芸術・文化（非日常）	祝祭空間
	藤沢において世界の芸術が楽しめる場所
	市民会館は音楽の活動が素晴らしいですが、この際、美術・博物館の分野、図書・歴史関係も統合されるとよいと思います
	あらゆるアートに触れられる場所
	美術・音楽・パフォーマンス、全てのアートに会える場所
	屋外でアートに触れられる場所
	収蔵庫をつくる（藤沢の多年に渉る作品群から寄贈してもらい、藤沢独自のアートを後世に伝えてほしい）
	博物関係は橋を渡った川名の森に作るとよい 藤沢は、多くの収集家もおり、日大資料館には藤沢市から預けてあるものも多い
	買い物の途中で休める場所（回遊性）
	いつも何か行われている場所
日常	一人で憩えるスーパー・スケール空間
	用事はなくても、行ってのんびりできる場所
	情報集約・発信拠点
発信	観光と繋がる場所（アートスペースと連携、藤沢宿）
	藤沢市に住みたい、ここで子育てしたいと思いたくなる場所（観光とかのお客さんでなく）
誇り	市民が毎日でも来たくなる、ここへ来れば元気が出る、心が豊かになれる、成長できる等、市民ひとりひとりにとって可能性を得る場所
	外に誇るものではなく、市民が誇れるもの（自分の生活、成長に欠かせないと自信を持って誇るもの）
バリアフリー	高齢化社会に対応して、トイレ、エスカレーター、エレベーター等の気配り希望
	昨今、藤沢もバリアフリーが大切になる年齢層が増加しており、駅から直接入れる劇場・美術館のある都市もあり、一考が要る 対象エリアが駅から遠いため、駐車スペースの確保を希望
青少年・子ども・若者・未来！	友達と集える場所
	居心地の良い場所
	仲間と活動できる場所
	音楽活動や軽い運動ができる空間 勉強のできる場所

◎各グループの意見

<Cグループ>

テーマ1 対象エリアが自身にとってどんな場所か？	
項目	意見の内容
Good	文化に触れられるエリア
	文化・芸術に触れる・感じる場所
	親子で演劇や音楽を聴いたり、演奏したりするところ
	ワクワク体験広場
	伝統文化の発表会（小ホール） 呈茶席
	商業施設、文化施設も多く、有効活用している
	いざというとき集まれるエリア
	講演会など知識を増やす場所（図書館も）
	様々な講演会を聞ける場所
	住居の辻堂が生活のメイン（藤沢駅エリアはプラスαの場）
	会議室 ※
	大ホール観劇 ※
	旧近藤邸前の芝生広場（チャリティー茶会）※
	レトロ・古めかしい（広くて素敵）※
子どもや家族と楽しむ思い出の共有 ※	
Bad	殺風景・温度がない
	使いづらい（階段が多く、スロープ・エスカレーターが少ない）
	他国、他県、他市の友人に自慢できない
	場所の変更なんて考えたことがないと思うか！！
	最悪の場所（洪水・内水・津波ハザードマップ内にある場所）
	自宅を建設するときに選択しますか？場所を変えて検討が必要
	次世代の人々に恥ずかしい場所である
	総事業費 120 億円から 200 億円以上となる

※項目・意見の内容は、ワークショップ時に模造紙・付箋に書かれた内容を概ねそのまま記載（誤字等は修正）

※表中の「※」についてはワークショップ時の模造紙では「Bad」のグループとなっているが、議論としては「Good」であったため表のとおり整理している

テーマ2 対象エリアがどんな場所になってほしいか？	
項目	意見の内容
コンセプト	藤沢の文化度の発信の基点
	文化発信ができる場所
	市民が誇れる場所・自慢できる場所
	持続可能（太陽光など）
	より個人要求を満たす、高度な文化サービスを
	文化・芸術の発信・中心
	次世代の人々に誇れる場所
	文化の交流（和・古典、西洋・東洋、藤沢の歴史）
	市民会館再整備が、公園の雰囲気のあるところをしたい（緑のある）
	あたたかい、居心地がよい
誇れる （他地域の友人・子ども・赤ちゃん）	アフターコロナに備え、物理的以外のアクセス、サービスを
	バリアフリー
	バリアフリーに配慮
	小さい子どもを連れた方も気軽に行ける
	子どもからシニアまで使え、楽しめるところ
	子どもたちが行きたくなる場所（みんなが）
	茶室
	ホールは多目的で使い勝手のよいものを
	親しみやすい（子ども、学生、社会人、高齢者、ハンディキャップのある人が参加）
	カフェ、レストランは欲しい
施設への意見	友好都市の接待（文化団体）
	訪れやすい、使いやすい
	（ホール、図書館）一カ所に集約
	対象施設の中に美術館（博物館）も含めたい
	秩父宮体育館も再整備の対象に含めたい
	自分の属している演劇グループの公演場所（市民利用のルール）
	ホールの使用の申込の際、演劇グループの場合は連続5日取れるように
	複合化施設でなく、独立した施設が望ましい
	藤沢市の施設が南部のみなので、北部にも展開して欲しい
	浸水対策はきちんと

◎各グループの意見

<Dグループ>

テーマ1 対象エリアが自身にとってどんな場所か？	
項目	意見の内容
楽しいイベント	楽しいイベントがある
	コンサート観賞で利用しました
	講演会・イベント等
	街と海の間にある施設
	いけばな団体の者で、月1回市民会館で行事をしており、無くてはならない場所
快適な場所 (奥田公園)	くつろぎを与えてくれる
	自然が多めなので、避暑や気分転換
	たまに立ち寄る
	大きな緑は大事
	イベントを眺める
川	
大勢が集まれる場所	車では来ない
	色んな人と出会いがある場
	屋内も屋外も
	奥田公園、市民会館の壁面利用
	体育館での人との交流
	テント(占い、野球等)
	にぎわいがある
	買い物できる
	キッチンカーなどを
	学校行事、成人式
	研修、説明会
生け花の展覧会	
学び・情報	知的な刺激を与えてくれる
	図書館

※項目・意見の内容は、ワークショップ時に模造紙・付箋に書かれた内容を概ねそのまま記載(誤字等は修正)

テーマ2 対象エリアがどんな場所になってほしいか？	
項目	意見の内容
気軽に寄れる	気軽に立ち寄れる
	親しみやすい身近な場所
	異なる年齢が集まれる
	複合施設⇒きっかけ作り
	全ての人が利用できる施設・公園(バリアフリーは当然)、駐車場からのスムーズな移動ができる
	気軽に利用しやすくなってほしい(民間企業を入れる等)(オンライン・WEB)
公園を生かす	少しの時間でも立ち寄りやすいこと
	大和のシリウス(大和市文化創造拠点シリウス)みたいな
	自然の豊かな場所
	全体にゆったりしているのがよい
	公園・自然とマッチ
	市内の動植物を見られるようにしてほしい
	樹木のある公園(地下駐車場)と景観を壊さない市民文化施設(公園の中の文化会館)
	広いスペース
	広場でのんびり休めるようなところがあれば
	待ち合わせできるスペース(ソファ)
快適に落ち着いて過ごせる場所	
楽しいコンテンツ	リーズナブルな価格で音楽・演劇を楽しめる
	市内の音楽家の演奏を
	市出身の子供は盛り上がった、応援したい
	市民の演奏を楽しむ
	大音楽家や著名な人だけでなく、色々な芸術を
	高額チケットの公演は都心でよい
楽しく食事	たまに使うのでなく頻度高く使うべき
	図書館は明るくてのんびりできるところ
	公共施設の堅さがないフランクなお店
	アンテナショップ、地元グルメ
ハードの充実	美味しい食事やお酒も楽しめる
	図書館閉館後のワイン試飲会
	外と内、壁面利用
	駐車しやすく
	行事をする側に立つと、車利用大事
	遊ぶ・見る側の利用なら車でなくてよい
	ホールの椅子・階段・エレベーター等の施設が快適に使える
	少し遠いがデッキが駅まで続くとよい
内水氾濫対策を兼ねた親水公園(遊水池利用?)	
貯水機能を持った小川、池	